

朝 都 発 第 3 6 7 号

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

朝霞市長 富岡 勝



平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のありました今後の道路行政についての意見・提案の提出について、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

埼玉県朝霞市

道路整備に用途が限られていた揮発油税や軽油取引税などの道路特定財源の税収を、用途を限らず、社会保障や環境対策などの財源として使うことが出来る一般財源化が平成21年度から実施されます。

そこで道路の中期計画は人口減少・高齢者、ストックの老朽化など社会的な背景を踏まえた選択と集中を基本的に考え、また、問題解決のため、計画期間において重点的・効率的に実施すべき道路施策の概要と重点目標など地域住民の視点に立って検討していただき、今後も地域が必要とする道路整備は、以上の観点を鑑み着実に実行されるようお願いします。

②－１ 地域の現状と抱える課題

埼玉県朝霞市

○現状

地域の現状として、一般国道２５４号は、東京都文京区を起点に、埼玉県西部地域を縦貫し、長野県松本市に至る延長２８４キロメートルの路線であります。その２５４号が朝霞市の南側を東から西に走っております。

朝霞市内でも朝夕の交通渋滞はもとより、終日も多くの車が通行しております。

○課題

国道２５４号の朝霞市内での交通渋滞により、市民生活に影響を及ぼしています。については交通渋滞の緩和対策をお願いいたします。

その為の、圏央道と外環道の重点整備と両道を連結する一般国道２５４号和光富士見バイパスの早期完成に向けた重点整備以外には改善の効果は望むことが出来ないと考えます。

②－２ 地域の目指すべき将来像

埼玉県朝霞市

従来の道路網は、地方と都市を結ぶ放射線状の整備が優先されてきた。これにより都心では通過するだけの車両による諸問題が生じ、これを改善すべく１９６４年に「首都圏３環状ネットワーク」が計画されました。

現在、中央環状線・外環道・圏央道の３環状線の整備が着々と進む中、災害等発生時における緊急輸送道路となる道路の整備、人と車両が安心して安全に共生できる道路整備が望まれています。

そこで、３環状線の整備効果として「車の流れがスムーズになれば大気環境の改善」、「高速道路に車を転換し、生活道路などでの交通事故の削減」、「沿線地域での商業施設の立地、地域開発の促進」などが見込まれます。

３環状線の整備が進むことにより、地域の目指すべき将来像としては『地域社会の環境改善』と『生活道路での交通事故の削減から市民生活の安心・安全の向上』、『更に地域経済の活性化』を目標とするよう提案いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施設の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

埼玉県朝霞市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
交通渋滞の緩和 と交通安全の向 上	国道２５４号の渋滞緩和が期待される一般国道２ ５４号和光富士見バイパスの早期完成。	一般国道２５４号和光富士見バイパスが全線 開通すると、国道２５４号の混雑緩和と東京外 環自動車道へのアクセスの強化が見込まれる。 また、生活道路での交通事故の減少が見込まれ、 地域の交通安全の向上にも繋がる。	